

## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

事業名：国道20号 竜王拡幅		事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 関東地方整備局
起終点：自：山梨県甲斐市竜王 至：山梨県韮崎市栄一丁目		延長：6.7km	
事業概要： 国道20号は、東京都中央区から山梨県甲府市を経て長野県塩尻市に至る幹線道路である。竜王拡幅は、甲府市街地から甲斐市竜王・韮崎市間の交通混雑緩和、交通安全の確保などを目的とした、甲斐市竜王から韮崎市栄一丁目までの延長約6.7kmの拡幅事業である。			
H 8年度事業化	H 5年度都市計画決定	H 11年度用地着手	H 11年度工事着手
全体事業費：210億円		事業進捗率：71%	供用済延長：1.5km
計画交通量：35,400台/日			
費用対効果分析結果	B/C：(事業全体) 2.5 (残事業) 5.2	総費用：(残事業)/(事業全体) 106/223億円 （事業費：76/193億円 維持管理費：30/30億円）	総便益：(残事業)/(事業全体) 550/550億円 （走行時間短縮便益：510/510億円 走行費用減少便益：24/24億円 交通事故減少便益：16/16億円）
基準年：平成17年			
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（現道等における交通混雑の改善） ・個性のある地域の強化（竜王赤坂・双葉竜地グレートビュー（産業拠点）等の面的開発の支援）			
関係する地方公共団体等の意見 甲西道路など周辺の道路と一体となってネットワークを形成し、甲府市街地と南アルプス市街地、韮崎市街地とのつながりの強化が期待されており、山梨県より国道20号（竜王拡幅）の整備促進の要望（平成16年5月19日）を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 近年、甲府市周辺における工業団地の進出による大型車の増加により交通混雑が発生している。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成8年度の事業化後、順次事業を展開し、現在、全区間で用地買収・工事を推進中（一部区間でH17工事着手）。平成17年9月10日に甲西道路との接続区間約1.5kmを供用した。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 今後も、用地買収・工事を推進し、平成20年度に全線供用予定である。			
施設の構造や工法の変更等 コスト縮減に資する調達方法の採用や新技術の積極的活用など、コスト縮減に努めるとともに工期短縮を図り、併せて整備効果の早期発現を図る。			
対応方針		事業継続	
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図 			

( 1 ) 事業全体の費用分析は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。  
総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。